

## 第1回部活動部会 会議要旨

とき 令和元年9月6日(金)  
ところ 北方南小学校 校長室

※会議の主な内容は以下のとおり

司会者：定刻になったので、第1回部活動部会を開始する旨を告げる。  
(19:00 開始)

部会長：会議に先立ち、あいさつを述べる。

※辞令交付及び委員の自己紹介を行う

事務局：北方学園構想について、基本計画の内容に沿って概要を説明。続いて開校準備委員会と専門部会の役割や今後の協議の進め方、日程等について説明する。

司会者：資料を用いて部活動の現況について説明する。(活動指針やジュニアクラブとの関係、現在の部員数や活動状況について、合同チーム参加規程、スポ少登録人数等)

司会者：今日は、具体的な協議に入る前に、資料などを参考にして各委員が疑問に思っていることや北方学園開校までに整理すべきことなどを自由に協議することとする。

(主な協議内容)

○2つの学園に分かれた直後の部活のあり方はどうしますか。とりあえず南北同じ部活を組織するのか、それだと部員や指導者の確保も問題なので初めから生徒数に応じた部活編成をするほうがよいのか。

⇒今後協議すべき問題ですが、個人競技はOKだが、チーム競技は合同チームを作る必要が出てくる。今の規定だと、部員数によってその年ごとに合同チームになる年とそうでない年ができることになり安定しないので、そのあたりは県や体育連盟などとも相談したい。

○南小学校の運動場の運用方法はどうなるのですか。

⇒2つの運動場を使い分けることになります。広さからいえば、南側が後期課程用、東側が前期課程用のグラウンドというような棲み分けになると思います。

○今の陸上部にはクラブチームの子が大勢入っているため、部員数はとても多い。クラブチームの子は基礎体力づくりのために所属しているので、出席率も悪いと聞いている。現状はどうなのですか。

⇒昔と違って必ずどこかの部活に所属しなければならない訳ではないのですが、そのような理由で陸上部に入っている場合もあるようです。クラブチームを優先するので出席率が悪

く、陸上の大会に参加させないということもある。また、部員数が増えると社会人コーチも含めて、指導体制の確保が難しいことも問題です。

⇒陸上だけではなく、指導者の人数確保は大きな問題です。社会人コーチも地元の人だけではないし、熱意あるコーチがいる時はいいがその人がいなくなったら困ってしまう。人数の確保は、毎年ある程度の指導力を平準的にキープしていけることにつながり、とても大切なことだと思う。

○部活だけの問題ではなく、幼児・子どもの頃からスポーツを長く続けることができるような体制を整備する必要があると思う。その後、スポ少、中学校部活、社会人スポーツと続いていけば、指導者の育成という面でも効果があると思う。

○指導者の確保のためには、社会体育としてのスポーツクラブ組織を確立することが大切だと思っています。現状の組織は競技ごとにずいぶん温度差があり、しっかり活動しているところもあれば形骸化してしまっているところもある。

○スポ推で、子供向けのバドミントンやミニテニスを行っているが、とても人気があり多くの参加者を集めている。その後も個人的に続けている人もいるが、中学にはバドミントン部がないのが現状です。そのあたり、うまく連携できるとよい。

○文化系の部活について、吹奏楽部がないので残念という声を聞くがどうなのですか。

⇒直接的には、部活の立ち上げの際に楽器の購入費が莫大な額になるという問題があります。また、指導者の確保も大切で、単に演奏できるというだけではなく、ある程度の知識や経験がある教員でないと教えることは難しいです。

⇒将来的には、部活動としての枠組みにとらわれず、大人と一緒に演奏するなど地域クラブとして活動できるとよい。例えば、地元のイベントで演奏するなど地域を巻き込んだ活動とできればよいと思う。

○令和5年4月の学園開校は決まっている。部活動の組織もそのとき急に変わるということでは子ども達が戸惑うことになると思う。そのため令和3年度の中学1年生から、例えば学園になると南北にチームが分かれる前提で練習したり、心づもりをしておくような指導をしなくてはならないと思う。

⇒そのためには、この部会での協議事項の順序が自ずと見えてくると思います。次回協議の際にはそのあたりを整理しておきます。

部会長：1回目の協議は以上とする。次回の部会の日程については、およそ11月初旬の夜7時ごろからとし、また調整することとする。

(21:00 終了)